全卸連

ボウリング場協会から「CSSカップ」開催で感謝状贈られる

ボウリングを通した社会貢献活動「CSS」を展開するために開催している「全卸連チャリティーボウリングCSSカップ」がボウリング業界内で大きな反響を呼び、1月22日に東京ドームホテルで開催された「日本ボウリング場協会及び日本ボウリング場事業協同組合」主催の賀詞交歓会のステージで、日本ボウリング場協会中里会長から全国化粧品日用品卸連合会の森友徳兵衛会長に感謝状が贈られた。

森友会長(右)

受賞あいさつで森友会長は、CSSカップに絶大な協力を得ている日本ボウリング場協会と日本プロボウリング協会に対するお礼を述べ、「全卸連はCSSという社会貢献を通じてこれからもボウリング復興に協力を惜しまない。ボウリング業界の皆様もぜひCSS活動へのご理解とさらなるご協力を深くお願い申し上げる」と述べた。

表彰式では、日本ボウリング場協会をはじめボウリング業界全体が、全卸連がボウリングを通して社会貢献に力を入れていること、さらに全卸連がこれまでボウリングにほとんど関わっていなかった企業の集まりであり、そのような団体が新たにボウリングを楽しむ企画を作ってくれたことと対して感謝の意を表明した。

今回の日本ボウリング場協会の賀詞交歓会では、全国規模のボウリング大会「KUWATA CUP」を主催して「レッツゴーボウリング」という新曲をリリースし、ボウリング界に大きな夢を届けた歌手の桑田佳祐氏にマスメディア大賞が贈られた。桑田氏の受賞と同じステージで全卸連が表彰されたことには大きな意義がある。

千日香　大阪　度賀章

関東地区の店舗展開に意欲

コスモス薬局　第2四半期　28期連続増収

コスモス薬品の2018年6～11月期は、エブリデイ・ロー・プライス政策の実行で価格競争力を高めたこと、新商圏への店舗網拡大を含めて新規出店を次々に行ったことなどから、決算期変更以来28期連続の増収を達成した。人件費を中心に販管費が大幅に増加したものの、各段階利益面は過去最高となった。

決算発表に伴い1月17日午後1時から、東京都千代田区のステーションコンファレンス東京で決算説明会を開催。横山英昭社長が詳細について解説した。

新規出店は中部地区に7、関西地区に13、中国地区に6、四国地区に5、九州地区に15の合計46店舗。スクラップ&ビルドによって5店舗を閉鎖し、店舗数は953店舗となった。食品の品ぞろえを拡充した大型店という従来型店舗に加え、限られたスペースで医薬品、化粧品などを充実し、現在は大阪、広島、福岡で5店舗展開する都市型店舗も運営しており、5月頃までには東京にも出店の予定。

説明会で横山社長は「深刻な人手不足で、各社で影響が出てきているものの、早くから想定して対応に着手していたため、時給の大幅アップなどで人材の囲い込みに成功。既存店売り上げも増加している」と順調な業績を強調した。今後は関東地区でも積極的に店舗を展開していく考えを明

詳細に解説する横山社長

門の伸長やフード強化による来店頻度向上などが下支えとなり売上総利益率は改善。また、人員配置の基準を根本的に見直し人件費の上昇を小幅に抑えたことで前期及び計画を上回る結果となった。

決算発表に伴い1月18日午前11時から、東京都中央区の東京証券

意気込みを示す廣瀬社長

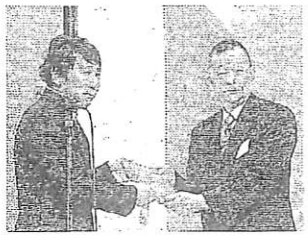
品を扱う専門店と協業した店舗など、ドミナントの深耕を継続しつつ、多様なフォーマットでの出店を展開した。調剤併設薬局は薬剤師の研修期間を拡充した影響で5店舗の開局にとどまった。これにより、総店舗数は611となった。

下期の取り組みとして新規出店はOTC32店舗、うち調剤併設は20店舗を計画。販促面では手法を見直し、割引クーポンによる集

ボウリングで社会貢献を

全卸連がボウリング場協会から感謝状

全国化粧品日用品卸連合会（全卸連）の森友徳兵衛会長に1月22日、東京都千代田区の東京ドームホテルで開催された「日本ボウリング場協会及び日本ボウリング場事業協同組合」主催の賀詞交歓会において、日本ボウリング場協会の中里則彦会長から感謝状が贈られた。



感謝状を贈られる森友会長㊨

表彰式では、協会や業界全体が、「全卸連チャリティーボウリングCSSカップ」を通して全卸連が社会貢献に力を入れていることや、これまでボウリングにほとんど関わっていなかった企業が新たにボウリングを楽しむ企画をつくってくれたことに対して感謝の意を表明した。

受賞あいさつで森友会長は「全卸連はCSSという社会貢献を通じてこれからもボウリング復興に協力を惜しまない。ボウリング業界の皆様もぜひCSS活動へのご理解と更なるご協力を深くお願いします」と呼び掛けた。